

3年 「鉄棒運動」 指導計画

単元の目標：自分の力に合った活動を工夫して、鉄棒運動に進んで取り組みながら、安全に気を付けたり、友達と励まし合ったりして自分の力に合った基本的な技を身に付けることができる。

時間	1	2～4			5・6		7
学習の流れ	つかむ・見通す ～オリエンテーション～	前時を振り返り、本時のねらいの確認					
	1 学習の進め方の確認	挑戦する：基本学習Ⅰ			高める：基本学習Ⅱ		振り返る
	2 安全面の確認	(めあて) 基本的な上がり技や支持回転技、下り技に挑戦しよう。【習得】			(めあて1) 今できる技をきれいにできるようになろう。【習熟】		
	3 準備運動	<下り技>	<上がり技>	<支持回転技>			発表会 (3・4年合同)
	4 試しの運動	前回り下り	膝掛け振り上がり	かかえ込み回り			
	5 個人課題	転向前下り	補助逆上がり	後方片膝掛け回転	広げる：発展学習		
6 共通課題の設定	両膝掛け倒立下り			(めあて2) もう少しでできそうな技に挑戦しよう。【活用】			
	1	2	3	4	5	6	7
技能			ア		ア		ア
態度	ア	イ		エ		ア	
思考・判断		イ		イ		ア	
	学習指導要領の内容 (ゴシック体は重点指導内容)		評価規準：()は十分満足と判断		評価	友達と励まし合って運動ができるような学び合い	
技能	基本的な上がり技や支持回転技、下り技に取り組み、それぞれについて自己の能力に適した技ができるようにする。		ア 自分の力に合った基本的な上がり技や支持回転技、下り技ができる。(スムーズに連続してできる)		観察	<ul style="list-style-type: none"> 互いに見合うことで、自分のめあての設定 自分や友達の技のポイントの紹介・教え合い 友達の補助 言葉や態度の例示  	
態度	運動に進んで取り組み、きまりを守り仲良く運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。 ア 鉄棒運動に進んで取り組むこと。 イ きまりを守り、友達と励まし合って運動をすること。 ウ 器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にすること。 エ 場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめること。		ア 技ができる楽しさや喜びに触れることができるよう、鉄棒運動に進んで取り組もうとしている。(何度も繰り返して最後まで努力している) イ 友達と励まし合って運動をしようとしている。(自ら進んで友達に声をかけている) エ 運動する場や器械・器具の使い方などの安全を確かめようとしている。(試技前後に、常に場の安全を確認・修正して合図を送っている)			苦手な子どもへの支援の手立て 【技能】 <ul style="list-style-type: none"> 固定施設や鉄棒での運動遊びを十分にを行い、運動感覚を身に付けさせる。 段階的指導法で、できた喜びを実感させながら取り組ませる。 【態度】 <ul style="list-style-type: none"> できる限り教師や友達の補助を付け、安心して取り組むことができるようにする。 意欲が高まったり、粘り強く努力することができるような声かけをする。 【思考・判断】 <ul style="list-style-type: none"> 友達のよい動きや教師の示範をする前に、見るポイントや視点を細かくアドバイスする。(握り方、足・手の動き方、目線など) 友達の動きの真似するようアドバイスする。 安心して取り組むことができる場の設定をする。 	
思考・判断	自己の能力に適した課題をもち、技ができるようになるための活動を工夫できるようにする。 ア 基本的な技の練習の仕方を知り、自分の力に応じた練習方法や練習の場を選ぶこと。 イ 基本的な技の動き方や技のポイントを知り、自分の力に合った課題を選ぶこと。		ア 自分や友達の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。(適切に選んでいる) イ 自分や友達の力に合った課題を選んでいる。(適切に選んでいる)		観察・学習カード		